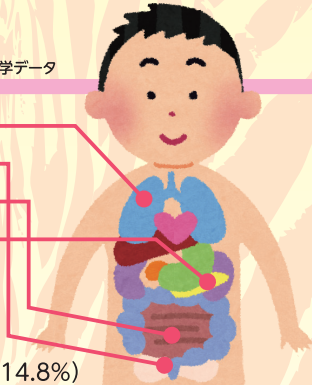


# NET 神経内分泌腫瘍とは…

神経内分泌腫瘍 (Neuroendocrine tumor: NET) とは、年間人口10万人あたり、3~5人発生する希少がんです。体の膵・消化管に発生することが多いですが、神経内分泌細胞がある様々な部位に発生します。2000年のWHO病理組織学的分類の改定で、カルチノイドという名称はなくなり、神経内分泌腫瘍という名称に統一されることとなりました。

## NET発生部位 米国疫学データ

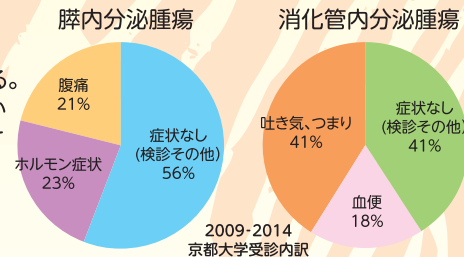
- 肺 (27%)
- 直腸 (17.2%)
- 空腸/回腸 (13.4%)
- 膵臓 (6.4%)
- 胃 (6.0%)
- 結腸 (4.0%)
- 十二指腸 (3.8%)
- 盲腸 (3.2%)
- 虫垂 (3.0%)
- 肝臓 (0.8%)
- 胸腺 (0.4%)
- その他/不明 (14.8%)



日本人では小腸NETは<5%と少ないのが欧米人と異なります。  
膵・消化管神経内分泌腫瘍 (NET) 診療ガイドライン <http://jnets.umin.jp/pdf/guideline001s.pdf>

## よくある症状

膵臓、消化管とも多彩な症状が出る。残り半数が検診か他の病気に伴って発見。



※機能性NETは症状が現れるので早期発見ができますが、非機能性NETの場合は、自覚症状がなく偶然に画像診断などで発見されることが多いです。

## 分類

Ki67指数と核分裂数という指標を用いたグレード分類

分類	増殖する能力を示す指標		特徴
	増殖する能力を示す指標 核分裂像数*	増殖する能力を示す指標 Ki-67指数	
NET G1	<2	≤2%	・高分化型
NET G2	2~20	3~20%	
NET G3	>20	>20%	

「膵・消化管 (NET) 分類: WHO2010」より引用

※/10 HPF

神経内分泌腫瘍と診断された方へ

# しまうまサークル@関西からのメッセージ

私たちの会には、発症部位・治療も様々なNET、NECの患者・家族が集まっています。若手もややお年寄り?(笑)も、男性も女性も、病歴の長い人も浅い人も、患者も家族も医療関係者もバラエティ豊かに集まっています。

会では、専門医からの最新医療情報を得たり、なかまのみなさんからさまざまな治療体験や副作用に関するタイムリーな情報も得られます。まじめな話も笑えるネタも共有・共感できる楽しい会合をめざしています。

会のあとは有志でお茶したり、市内観光したり。そちらがお目当ての参加も大歓迎です。あなたも、みんなの元氣がもらえますよ。

しまうまサークル@関西へおこしやす~

## 5つのメリット ちょっと覗きにきてみませんか?

### 知

#### 専門医による医療知識

会では専門医による最新の医療知識を講演会で得ることができます。

### 絆

#### 仲間との繋がり

仲間との絆ができ、病気ばかりでなく仕事や食生活や人間関係のことも話しあえます。同年代、同じ病状の方と悩みを共有できます。

### 情報

#### 治療や病院や副作用情報

いろいろな治療法や病院や先生の情報、また副作用についてもリアルに情報収集できます。

### 心

#### 気持ちのリフレッシュ

一人で悩まないで、お互いが元気を分かち合い、気持ちをリフレッシュすることで免疫力アップになります。

### 楽

#### ランチやイベント参加

ランチやおでかけイベントに参加することで、京都の魅力もわかります。ご家族も参加いただけます。

(年会費は集めていません。)

# しまうまサークル@関西 活動内容ご紹介

- 患者会は、年6回程度
  - 年、2回をめぐり専門医による講演会
  - 医師・看護師・薬剤師・管理栄養士による勉強会を開催
  - NPO法人パンキャンジャパンによる勉強会に参加
  - 新年会 ● 茶話会
  - ランチ ● 京都ぶらり発見(おでかけ)
  - 他団体との関わり  
(東京患者サロン「しまうまねっと」との交流)  
(リレーフォーライフへの参加)
- など

松本 繁巳准教授による勉強会

増井 俊彦先生による勉強会



リレーフォーライフ参加

# NETのシンボルリボン

## ゼブラ

=しまうまの由来



ネット  
キャンサー  
デーとは?

※ロゴマーク=INCAより出典  
(<http://incalliance.org/>)

※NET CANCER DAY  
(<http://netcancerday.org/>)

※NPO法人パンキャンジャパン主催  
ネットキャンサーデー、仮装大会

2012年11月10日世界初の「ネットキャンサーデー」。

神経内分泌腫瘍のシンボルは、シマウマ。元となる格言は、  
欧米で医師の卵の教育の場でよく使われる「ひづめの音  
を聞いたら、まず馬を疑え。シマウマではなく」というもの。  
だが、NET診療はその逆で、「シマウマを考えてみて」となる。  
「希少なこの病気の初期は、一般的な病気と診断され  
ることが多い。そのため、有効な治療を受ける機会を逃し  
てしまうことがある。シマウマは探し出そうとしないと、見  
つけられない」という意味でシンボルリボンは、ゼブラ=  
しまうまとされました。

# 「しまうまサークル@関西」 主な活動拠点

## ひと・まち交流館 京都 アクセス・交通

【バス】  
市バス4, 17, 205号系統  
[河原町正面]下車  
【電車】  
京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分  
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分

ひと・まち交流館 京都  
〒600-8127  
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る  
梅湊町83番地の1 (河原町五条下る東側)  
TEL:075-354-8711

<http://www.hitomachi-kyoto.jp/>

■開館時間  
平日:午前9時~午後9時半  
日曜・祝日:午前9時~午後5時  
■休館日  
毎月第3火曜日  
(国民の祝日にあたるときは翌日) 年末年始



お問い合わせは、 [shimaumacircle@yahoo.co.jp](mailto:shimaumacircle@yahoo.co.jp)

## 関係機関紹介

「しまうまねっと」 <http://netnokai.blogspot.jp/>  
東京の神経内分泌腫瘍患者サロン

NPO法人パンキャンジャパン <http://www.pancan.jp>  
臓器のがんのための研究支援、患者・家族の支援、政策提言活動を  
推進しているNPO法人

神経内分泌腫瘍研究会 <http://jnets.umin.jp/>  
診療ガイドラインの作成や学術集会の開催などの各種委員会活動  
とプロジェクト研究活動

膵・消化管神経内分泌腫瘍 (NET) 診療ガイドライン  
<http://jnets.umin.jp/pdf/guideline001s.pdf>

NET links [http://www.netlinks.jp/net\\_patient\\_top](http://www.netlinks.jp/net_patient_top)  
ダウンロードすると病気のことがよくわかります。  
一般患者向け、解説書。

国立がん研究センター 希少がんセンター  
[http://www.ncc.go.jp/jp/rcc/01\\_about/neuroendocrine\\_tumor/index.html](http://www.ncc.go.jp/jp/rcc/01_about/neuroendocrine_tumor/index.html)  
こちら、病気について詳しく説明があります。

国際神経内分泌腫瘍連盟 (INCA) のサイト  
<http://www.incalliance.org>  
英文のみ

※このパンフレットは、大阪ガス(株)の助成金で印刷しました。

# 神経内分泌腫瘍患者会



## しまうまサークル@関西

ホームページ

<http://netkansai.blog.so-net.ne.jp/>

Eメール

[shimaumacircle@yahoo.co.jp](mailto:shimaumacircle@yahoo.co.jp)

※お問い合わせは、メールにてお願いいたします。